

78 ケニアにおける郷土樹種メリアを 対象とした育種技術の開発



Webページ

技術のポイント

国土の80%が乾燥・半乾燥地であるケニアにおいて、半乾燥地に自生しているセンダン科の樹種メリアを対象とした育種の技術開発を進めています。これまでに優良木を100本選抜し、2箇所の採種園と12箇所の次代検定林を造成しました。検定結果を基に採種園において劣っていた系統を伐倒し、改良育種種苗を生産しています。さらに検定林から優れた第2世代を400本選抜し、4箇所の第2世代採種園を造成して、種子生産に向け育成中です。

連携・橋渡しの方向

ケニア森林研究所と育種種苗の普及に向け、採種園管理マニュアルや普及ガイドラインの作成に取り組みました。ケニアでは2023年から2032年までに150億本を植林する国家プロジェクトが進行中であり、この活動に貢献します。

詳細情報

- 研究成果：<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/5th-chuukiseika4.html>
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/5th-chuukiseika5.html>

担当者

林木育種センター・宮下久哉



図1 メリア(センダン科)の第2世代採種園
1箇所あたり100系統400本の第2世代優良系統が植栽され、種子を生産します。



図2 メリア(センダン科)の次代検定林
環境要因を少なくするため系統をランダムに配置して植栽し、成長が遺伝的に優れているかどうか調べます。

■ 謝辞

本研究は、(独)国際協力機構による技術協力「ケニア国気候変動への適応のための乾燥地耐性育種プロジェクト」(H24～29)、「ケニア国持続的森林管理のための能力開発プロジェクト(林木育種コンポーネント)」(H29～R4)及び「持続的森林管理・景観回復による森林セクター強化及びコミュニティのための気候変動レジリエンスプロジェクト(林木育種コンポーネント)」(R4～9)に係る業務委託により実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>